

第4回福島県芸術祭参加行事

部門	行 事 名	場 所	期 日	料 金
音 楽	福島市芸能祭(洋楽の夕)	福島市 公会堂	11. 4	無 料
	同 (邦楽の夕)	同	11. 6	〃
	19回 県合唱コンクール	白河市 市民会館	10. 3～ 4	〃
	平岡養一帰朝木琴独奏会	福島市 公会堂	11. 16	有 料
	クラウディ・ビルラ リサイタル	同	11. 21	〃
演 劇	19回 県演劇コンクール	白河市 市民会館	11月	無 料
	関西芸術座公演	福島市 公会堂	11. 15	有 料
美 術	4回 県勤労者美展	福島市県商工会館	10. 6～ 9	無 料
	33回 県美協展	同	10. 30～11 4	有 料
	11回 白河総合美展	白河市第一小学校	11月中	〃
民俗芸能	15回 県民俗芸能大会 白河民俗芸能 発表会	双葉郡浪江町 白河市 市民会館	11月 9. 23	無 料 〃
総合行事	3回 平市芸術文化祭	平市 公会堂外	10. 29～11. 7	無 料

7 へき地文化振興

芸術文化の振興は、社会教育上きわめて重要なものであり、特に創造性豊かな県民づくりと、文化的に香り高い県土を築くためには、県民の文化水準を高めることが基本的な要件である。

本県の如く、山村へき地農漁村の多い所においては積極的に文化の導入をはかり、都市・地方の格差をとり除かなければならない。

この意味においてへき地(辺地)への文化導入を関係方面と連絡提携のうえ実施した。

第二年度は辺地に合唱団を派遣して、美しいハーモニーを鑑賞させ歌唱を指導し、生活に希望と潤を与え、へき地文化の振興をはかった。

(1) 期日と巡回地

区分	派遣団体	日 時	巡 回 地	摘 要
第一班	国鉄郡山工場男声合唱団	8月21日午後	双葉郡川内村高田島(第三小学校)	宿泊
		22日午前	田村郡都路村岩井沢(第二中学校)	上川内
第二班	FMC混声合唱団F	8月28日午後 29日午前	東白川郡古殿町宮本(本宮中学校) 東白川郡鮫川村富田(富田小学校)	宿泊 仙石
第三班	国鉄郡山工場男声合唱団	9月11日 夜 12日午前	耶麻郡山都町宮古(第一小学校第三分校) 耶麻郡磐梯町布藤(更科分校)	宿泊 宮古
第四班	福島お母さん合唱団	9月18日午前	安達郡岩代町田沢(田沢小学校)	日 帰
第五班	若松お母さん合唱団	9月19日午後	大沼郡金山町中川(中川小学校)	日 帰

(2) 巡回合唱団

合 唱 団	指 導 者	員数	所 在 地
FMC混声合唱団	高野 広治	23	福島市柳町1-22
国鉄郡山工場男声合唱団	鈴木 武司	20	郡山市国鉄郡山工場物資部内
福島お母さん合唱団	竹内 至	20	福島市松木町35
若松お母さん合唱団	栗城 ミユキ	20	会津若松市栄町公民館内

(3) 所 見

初の試みであったが、予想以上の成果をあげ、山

村の老若男女が文字どおり感激し、合唱団と共に喜びとして唄いあい、再度来訪を誓いあう美しい風景がどの会場でも見受けられた。

本県の合唱活動の新しい試みであり、へき地文化振興が如何に重要であるかを如実に示すものとして考えさせられた。

8、文化振興会議

市町村の芸術文化の振興をはかるため、地方教育委員会芸術文化担当者の参集をもとめて、当面する問題について協議し、かねて情報交換の機会をもつた。

(1) 期 日 昭和41年2月25日

午前10時～午後4時30分

(2) 会 場 郡山市稲荷町 郡山市商工会館

(3) 参加者 各市町村教育委員会芸術文化担当者等 80名

- (4) 内 容
- ① 地方における芸術文化行政についての情報交換ならびに研究協議
 - ② 市町村における文化行政のすすめ方についての特別講義
 - ③ 昭和41年度開催予定事業ならびに連絡調整

全体討議議題と分科会

全体討議議題 市町村における文化行政のすすめ方

分科会テーマ

- 第一分科会 「芸術文化振興組織とその運営」
- 第二分科会 「文化団体育成の方策」
- 第三分科会 「地方芸術祭(文化祭)のあり方」

(5) 講師ならびに助言者

講 師 (文部省芸術課長補佐)

福 田 安 男

(福島大学学芸学部長)

平 井 博

助言者 (県社会教育委員)

今 泉 正 顕